

2000/12/29

# POPJ マニュアル

SMTP/POP3 Client for Palm

<b>1. 概要</b> .....	<b>1</b>
<b>2. 初期設定</b> .....	<b>2</b>
2.1. モデム(MODEM).....	3
2.2. ネットワーク(NETWORK).....	4
2.3. POPサーバ(POP).....	5
2.4. POPサーバ詳細(POP DETAILS) .....	6
2.5. SMTPサーバ(SMTP).....	8
2.6. SMTPサーバ詳細(SMTP DETAILS) .....	9
2.7. フィルタ(FILTER) .....	11
2.7.1. 受信フィルタ(Filter to Retrieve).....	12
2.7.2. 送信フィルタ(Filter to Send).....	15
2.7.3. リモートメールフィルタ(Remote Mail Filter) .....	17
2.8. 署名文書(SIGNATURE).....	18
2.9. メール分割(SPLIT MAIL).....	19
2.10. ボタン(BUTTON) .....	20
2.11. POPJについて(ABOUT) .....	21
<b>3. メイン画面</b> .....	<b>22</b>
<b>4. 接続画面</b> .....	<b>26</b>
<b>5. リモートメール画面</b> .....	<b>28</b>
5.1. リモートメールメニュー.....	30
5.2. リモートメール単独詳細情報画面.....	31
5.3. リモートメール複数詳細情報画面.....	33

## 1. 概要

POPJ は、PalmOS 上で動作する SMTP/POP3 クライアントソフトウェアです。  
メールの読み書きは内蔵のメーラを使用して、POPJ はメールの送受信を担当します。

### 特長

- (1) 日本語、英語、中国語、韓国語に対応(各言語の OS が必要です)
- (2) 最大 8 個の複数メールサーバ設定
- (3) フィルタによる送信、受信、未読、削除管理
- (4) サイズの大きなメールの分割受信
- (5) APOP、SMTP 認証(LOGIN,CRAM-MD5)に対応

## 2. 初期設定

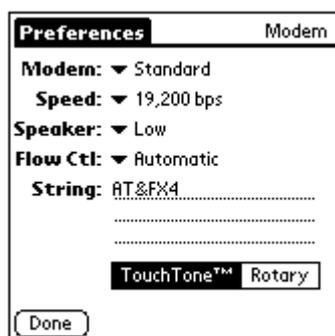
メイン画面から MENU>Options を選択することにより各種設定をすることができます。Network,POP,SMTP,Filter はメールボックスごとに設定しなければなりません。それ以外の設定は共通です。



項目	設定内容	適用範囲
Modem	モデム	共通
Network	ネットワーク	メールボックス単位
POP	POP サーバ	メールボックス単位
SMTP	SMTP サーバ	メールボックス単位
Filter	送信、受信、リモート メールフィルタ	メールボックス単位
Signature	署名文書	共通
Split Mail	メール分割	共通
Button	ボタン	共通

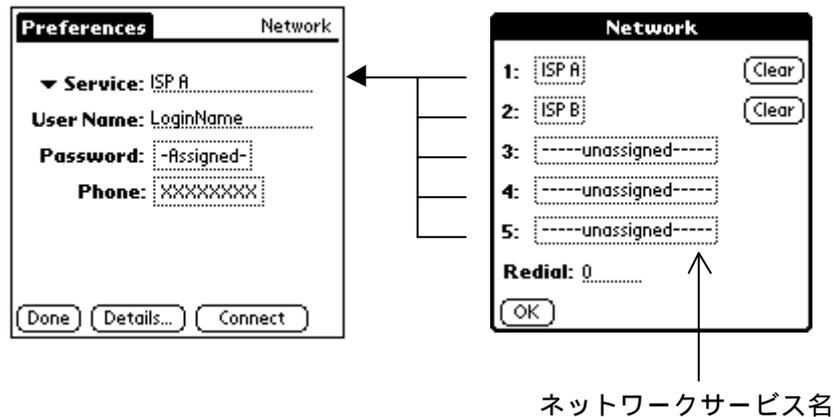
## 2.1. モデム(Modem)

接続しているモデムの設定をします。モデム設定の詳細は Palm マニュアルの Preferences>modem を参照してください。



## 2.2. ネットワーク(Network)

接続先のネットワーク情報を設定します。各メールボックスごとに最大5個の異なるネットワーク設定ができます。使用するネットワーク設定はメイン画面で選択します。ネットワーク設定の詳細は Palm マニュアルの Preferences>Network を参照してください。



### (1) ネットワークサービス名

ここを押すことによりネットワーク設定を行ないます。本ネットワーク設定は Preferences>Network の情報を POPJ が読み出し、POPJ が独自に記憶しています。このネットワーク設定は削除できますが、再編集はできません。既に設定されている名前を押すと再編集ではなく、再設定となります。よって、複数の設定を再編集する必要があるときには、あらかじめ Preferences>Network で MENU>Service>Duplicate を使用して複数の設定を作成しておき、POPJ のネットワーク設定ではそれらを選択するだけにしたほうがよいでしょう。

### (2) Clear ボタン

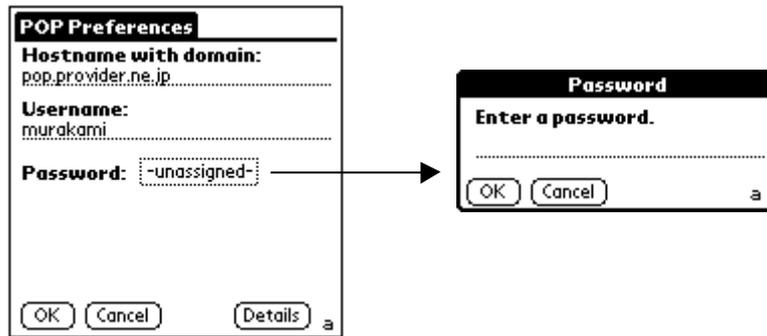
ネットワーク設定を削除します。

### (3) Redial

プロバイダへの接続で話し中の時のリダイヤル回数を設定します。

### 2.3. POP サーバ(POP)

POP サーバに関する設定をします。



#### (1) Hostname with domain

POP サーバのホスト名を設定します。(例: pop.provider.ne.jp)

#### (2) Username

POP サーバに接続するユーザー名を設定します。(例: murakami)

#### (3) Password

POP サーバに接続するパスワードを設定します。

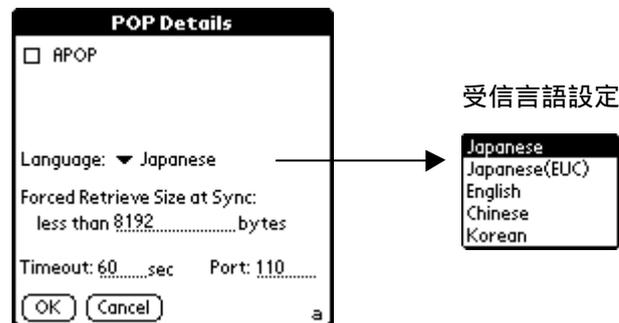
表示	内容
-unassigned-	パスワードが設定されていない
--assigned--	パスワードが設定されている

#### (4) Details ボタン

POP サーバ接続に関する詳細情報を設定します。

## 2.4. POP サーバ詳細(POP Details)

POP サーバに関する詳細情報を設定します。



### (1) APOP

POP サーバとの認証で APOP を使用するときにはチェックを入れます。APOP を使用するには、POP サーバが APOP に対応しており、APOP 用のパスワードを POP サーバに設定している必要があります。

### (2) Language(受信言語設定)

受信メールの言語を設定します。通常はメールヘッダの Content-Type を参照して文字コード変換するので Japanese, English, Chinese, Korean のどれを選択してもよいでしょう。ヘッダに Content-Type の存在しないメールは Japanese では「JIS, EUC SJIS」変換、English, Chinese, Korean では無変換となります。

Japanese(EUC)は POP サーバ側で強制的に漢字コードを EUC に変換されるときに設定してください。対応しているキャラクタセットは以下のとおりです。

言語	キャラクタセット	POPJ が行なうコード変換
日本語	ISO-2022-JP	JIS SJIS
	Shift_JIS	無変換
	EUC-JP	EUC SJIS
英語	US-ASCII	無変換
	ISO-8859-1	無変換
中国語	GB2312	無変換
	HZ-GB-2312	HZ-GB GB
	Big5	無変換
韓国語	ISO-2022-KR	ISO-2022-KR EUC-KR
	EUC-KR	無変換
	KS_C_5601-1987	無変換

### (3) Forced Retrieve Size at Sync

通常、メール同期処理時にはメールのヘッダだけが必要なので、POP の TOP コマンドを使用してヘッダだけを取得します。その後、メール受信処理時に POP の RETR コマンドを使用して本文を取得します。しかし、ここで指定されたサイズより小さいメールは、メール同期処理時に POP の RETR コマンドを使用してヘッダと本文の両方を一度に取得します。そして、本文を一時的にメモリに格納しておき、メール受信処理時に RETR コマンドを実行せずメモリ内の本文を使用します。(高速化のため)

受信フィルタを使用してほとんどすべてのメールを受信する場合は、この値を大きくしておいたほうがよいでしょう。逆に、ほとんどのメールを受信しない場合は、小さい値がよいでしょう。

### (4) Timeout

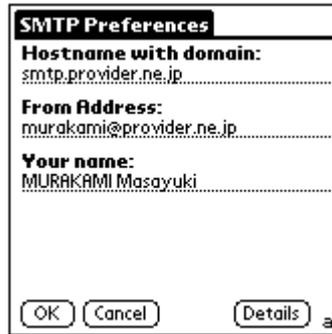
POP 動作のタイムアウト時間を設定します。

### (5) Port

POP のポート番号を設定します。通常は「110」を設定してください。

## 2.5. SMTP サーバ(SMTP)

SMTP サーバに関する設定をします。



### (1) Hostname with domain

SMTP サーバのホスト名を設定します。(例: smtp.provider.ne.jp)

### (2) From Address

送信メールの From アドレスを設定します。(例: murakami@provider.ne.jp)

### (3) Your name

送信メールの From に入る名前を設定します。日本語も使用できます。

半角の以下の文字は使用しないでください。もしも使用する場合には、必ず入力全体をダブルクォーテーション「”」で囲み、日本語は使用しないでください。

(例: “MURAKAMI,Masayuki”)

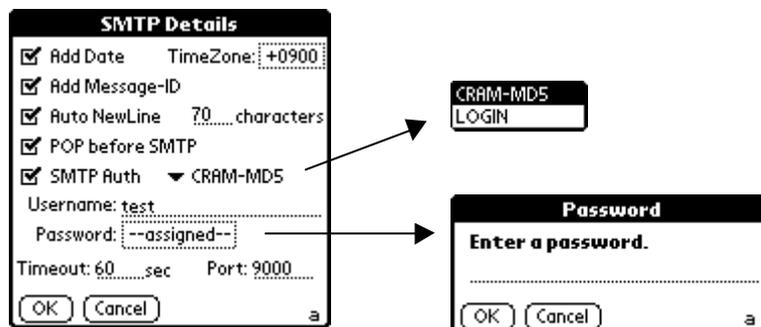
文字	読み方
< > ( )	括弧
,	カンマ
;	セミコロン
:	コロン
@	アット
!	感嘆符,エクスクラメーションマーク
/	スラッシュ
=	イコール

### (5) Details ボタン

SMTP サーバ接続に関する詳細情報を設定します。

## 2.6. SMTP サーバ詳細(SMTP Details)

SMTP サーバに関する詳細情報を設定します。



### (1) Add Date

送信メールのヘッダに Date を付けるか否かを設定します。タイムゾーンは設定画面で午前を選択すると「+」に、午後を選択すると「-」になります。

チェックボックス	動作内容
チェックする	Date を付ける
チェックしない	Date を付けない

### (2) Add Message-Id

送信メールのヘッダに Message-Id を付けるか否かを設定します。

チェックボックス	動作内容
チェックする	Message-Id を付ける
チェックしない	Message-Id を付けない

### (3) Auto NewLine

送信メールの本文を指定桁数(半角)で自動的に改行するか否かを設定します。

チェックボックス	動作内容
チェックする	自動改行する
チェックしない	自動改行しない

自動改行の動作は以下のとおりです。

- (a) メールボックス単位で ON,OFF 可能です。
- (b) 任意の桁数指定(5~500)ができます。
- (c) 行頭文字が>'の場合は自動改行しません。
- (d) 禁則処理(注意：指定桁数を超えることがあります。)
- (e) 指定桁数の7割以上に「、。」「空白文字」などがあられると、その時点で強制改行します。
- (f) 指定桁数の9割以上に「括弧閉じ」「半角以外+半角」「半角+全角」「漢字以外+漢字」「半角+ひらがな」「カタカナ以外+カタカナ」があられると、その時点で強制改行します。

改行桁数の数字のはじめにドット(.)を付けると(e)と(f)は機能しなくなり、必ず指定桁数で改行するようになります。(例: 「.70」)

#### (4) POP before SMTP

SMTP 接続前にダミーの POP 接続をします。POP 接続をしないとメール送信ができない場合に使用してください。

チェックボックス	動作内容
チェックする	ダミーの POP 接続をする
チェックしない	ダミーの POP 接続をしない

#### (5) SMTP Auth

RFC2554 の SMTP 認証を行います。Username と Password には、SMTP サーバ側に登録されている値を入力します。対応している認証方式は「LOGIN」と「CRAM-MD5」です。

チェックボックス	動作内容
チェックする	SMTP 認証を実行する
チェックしない	SMTP 認証を実行しない

#### (6) Timeout

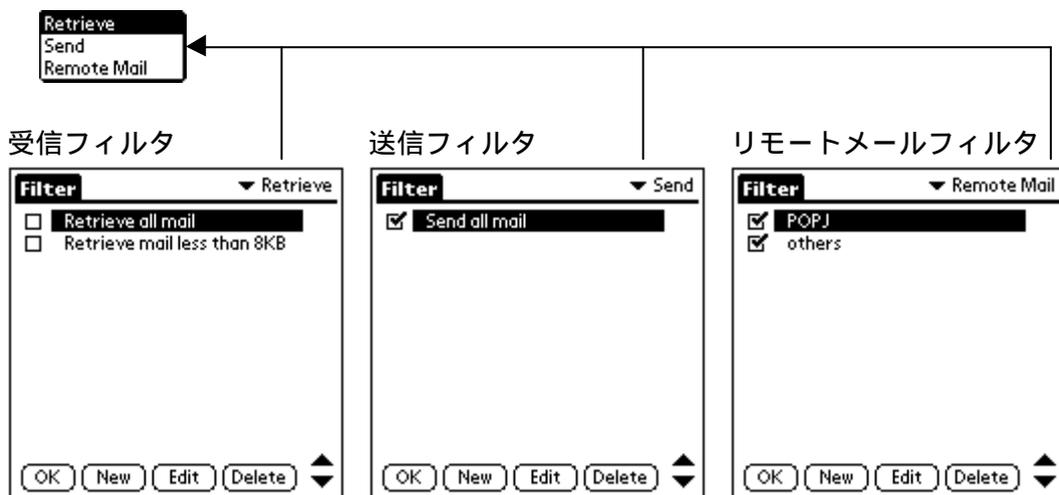
SMTP 動作のタイムアウト時間を設定します。

#### (9) Port

SMTP のポート番号を設定します。通常は「25」を設定してください。

## 2.7. フィルタ(Filter)

送信 / 受信 / リモートメールフィルタの設定をします。受信フィルタはメール受信時に、送信フィルタはメール送信時に機能します。リモートメールフィルタは、リモートメール画面でメールの表示を分類するために使用されます。フィルタは左側のボックスにチェックが入っているものだけが有効です。フィルタは有効なものが上から順番に評価され、一致した時点でメールの動作が確定します。それ以降のフィルタは評価されません。送信 / 受信 / リモートメールフィルタの切り替えは、右上のポップアップトリガで行います。



### (1) New ボタン

フィルタを新規に作成します。

### (2) Edit ボタン

選択しているフィルタを編集します。

### (3) Delete ボタン

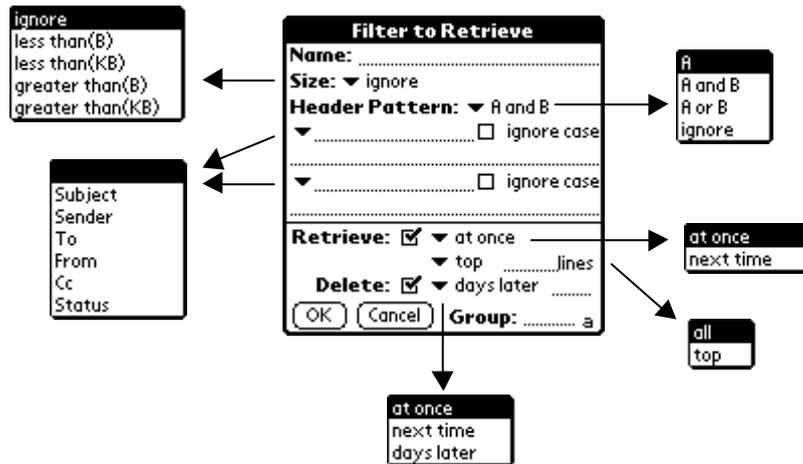
選択しているフィルタを削除します。

### (4) ボタン

選択しているフィルタの優先順位を変更します。

### 2.7.1. 受信フィルタ(Filter to Retrieve)

受信フィルタは、特定のメールに対して自動的に受信 / 削除 / グループ設定を実行するために使用されます。



#### (1) Name

フィルタの名前を設定します。この名前はフィルタの一覧で表示されます。

#### (2) Size

メールのサイズを設定します。

選 択	動 作 内 容
ignore	常に一致
less than(B)	指定 Bytes 以下のときに一致
less than(KB)	指定 Kbytes 以下のときに一致
greater than(B)	指定 Bytes 以上のときに一致
greater than(KB)	指定 Kbytes 以上のときに一致

### (3) Header Pattern

メールヘッダにあらわれる文字列を設定します。1行目にヘッダ識別子(Subject,From など)、2行目にそのフィールドにあらわれるパターン文字列(日本語使用可能)を設定します。メールヘッダに、指定したヘッダ識別子にパターン文字列があらわれたら一致、あられなかつたら不一致となります。

ヘッダ識別子は大文字、小文字の区別はありません。パターン文字列は大文字、小文字の区別があります。ただし、ignore case にチェックを入れると、パターン文字列の大文字、小文字は区別しません。

ヘッダ識別子とパターン文字列は、1メールにつき最大2種類設定することができます。

選 択	動 作 内 容
A	1 種類設定
A and B	2 種類設定(両方が一致していること)
A or B	2 種類設定(どちらか一方が一致していること)
ignore	常に一致

パターン文字列には以下の特殊文字を使用することができます。

特殊文字	動 作 内 容
^	行頭に一致
\$	行末に一致

例: Header Pattern 一致テスト

テストヘッダ

Subject: This is a Sample of header From: <a href="#">a@b.c</a>
--

ヘッダ 識別子 1	パターン 文字列 1	ignore case1	ヘッダ 識別子 2	パターン 文字列 2	ignore case2	パターン 組み合わせ	結果
Subject	Sample						
Subject	sample						×
Subject	SAMPLE						×
Subject	sample	チエック					
Subject	SAMPLE	チエック					
Subject	^Sample						×
Subject	Sample\$						×
Subject	^This						
Subject	header\$						
Subject	That		From	a@b.c		AND	×
Subject	That		From	a@b.c		OR	
Subject	This		From	a@b.c		AND	
Subject	This		From	a@b.c		OR	

結果 :一致する    ×:一致しない

#### (4) Retrieve

Size と Header Pattern の両方が一致したメールの受信動作を設定します。

チェックボックス	選択 2	動作内容
チェックする	all	全本文を受信する
	top	本文先頭の指定行数だけ受信する
チェックしない		受信しない

受信する場合は、今回受信するか、次回受信するかを選択することができます。

選択 1	動作内容
at once	今回の接続で受信する
next time	次回の接続で受信する

備考：「at once」を設定していても、メイン画面の Retr 設定がされていない場合は、今回の接続では受信されません。この場合は「next time」と同様に次回の接続で Retr 設定がされているときに受信されます。

#### (5) Delete

Size と Header Pattern の両方が一致したメールのサーバからの削除動作を設定します。

チェックボックス	動作内容
チェックする	削除する
チェックしない	削除しない

削除する場合は、Sync 動作から何日後に削除するかを設定することができます。

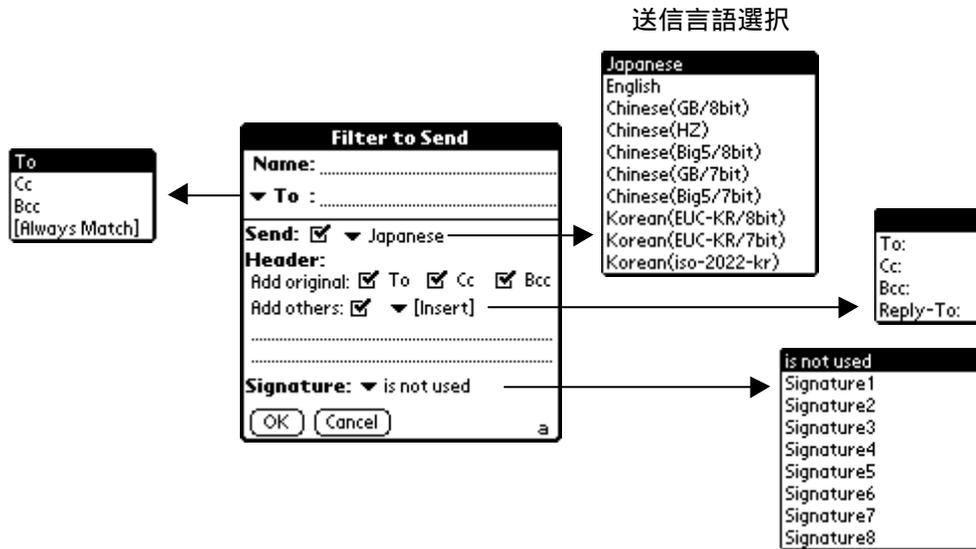
選 択	動作内容
at once	今回の接続で削除する
next time	次回の接続で削除する
days later	設定日が経過してからの接続で削除する

#### (6) Group

最大 4 文字のグループ名を設定します。グループ名は、リモートメールフィルタでリモートメール画面のメールを分類するために使用します。

## 2.7.2. 送信フィルタ(Filter to Send)

送信フィルタは、メーラで作成したメールの送信を制御するために使用されます。



### (1) Name

フィルタの名前を設定します。本名前はフィルタの一覧で表示されます。

### (2) To,Cc,Bcc 比較文字列

メーラで送信した Outbox に格納されているメールの To,Cc,Bcc にあられる文字列を設定します。大文字、小文字の区別はありません。ここで設定した文字列が、選択された To,Cc,Bcc にあられいたら一致、あられなかったら不一致となります。全メールと一致させるには[Always Match]を選択します。

設定文字列	abc@x.y.z	abc	@x.y.z
Outbox ヘッダ内容			
<a href="#">abc@x.y.z</a>			
<a href="#">abc@d.e.f</a>	x		x
<a href="#">uvw@x.y.z</a>	x	x	

:一致する    x:一致しない

### (3) Send

To,Cc,Bcc 比較文字列が一致したメールの送信動作を設定します。

チェックボックス	動作内容
チェックする	送信する
チェックしない	送信しない

(4) 送信言語選択

メール送信時の言語を選択します。

(5) Header

送信するメールのヘッダを決めます。

(a) Add original

メーラで入力した To,Cc,Bcc を送信メールに付けるか否かを設定します。

チェックボックス	動作内容
チェックする	メーラで入力したヘッダを付ける
チェックしない	メーラで入力したヘッダを付けない

(b) Add others

メーラで入力した以外にヘッダを付けたい場合に設定します。付けられるヘッダは、To,Cc,Bcc,Reply-To です。これ以外のヘッダは入力しても送信されません。

[Insert]で入力するヘッダを選択してください。続けてアドレスを同じ行に書きます。

チェックボックス	動作内容
チェックする	POPJ で入力したヘッダを付ける
チェックしない	POPJ で入力したヘッダを付けない

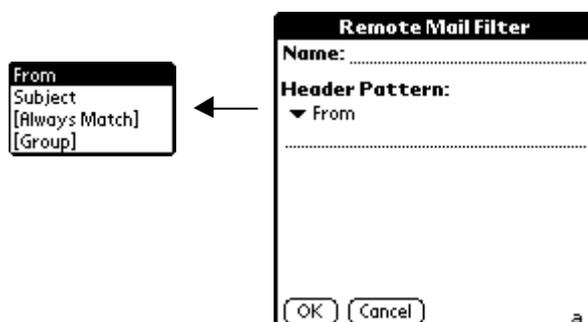
(6) Signature

送信メール本文の末尾に付ける署名文書を選択します。署名文書は、メイン画面の Options>Signature で設定します。

選 択	動作内容
is not used	Signature を使用しない
SignatureN	N 番の Signature を使用する

### 2.7.3. リモートメールフィルタ(Remote Mail Filter)

リモートメールフィルタは、リモートメール画面でメールを分類するために使用されます。



#### (1) Name

フィルタの名前を設定します。本名前はフィルタの一覧で表示されます。また、リモートメール画面のメール分類名としても使用されます。

#### (2) Header Pattern

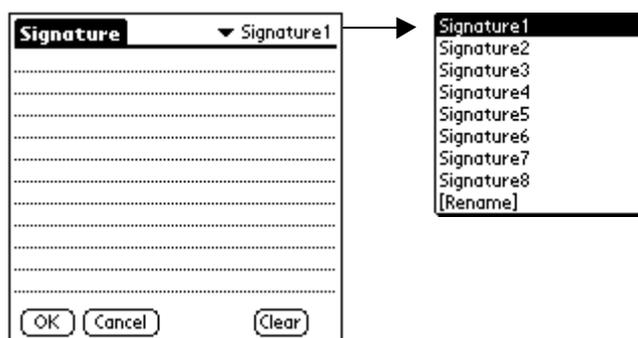
ここで設定した条件に一致したメールが、フィルタの名前に分類されます。

条件選択	説明
From	From に現れる文字列と比較します。
Subject	Subject に現れる文字列と比較します。
[Always Match]	常に一致します。フィルタの最後に一致しなかったものすべてを分類するときに使用します。
[Group]	グループ名に現れる文字列(最大4文字)と比較します。

## 2.8. 署名文書(Signature)

送信メール本文の末尾に付ける署名文書を設定します。

署名文書は最大 8 個記述できます。署名文書の選択は送信フィルタで行います。



### (1) [Rename]

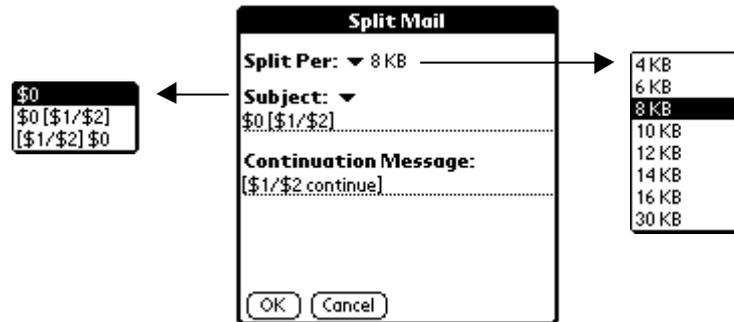
現在選択されている署名文書名を変更します。

### (2) Clear

現在選択されている署名文書をすべて削除します。

## 2.9. メール分割(Split Mail)

サイズの大きなメールを受信したとき、POPJ はメールを分割して Inbox へ格納します。ここではその分割方法を設定します。



### (1) Split Per

メール分割サイズを設定します。本設定サイズより大きなメールを受け取ると、そのメールは分割されて Inbox へ格納されます。

### (2) Subject

メール分割されたときの Subject を設定します。

特殊文字	内容
\$0	本来の Subject
\$1	分割メール連番
\$2	分割メール総数

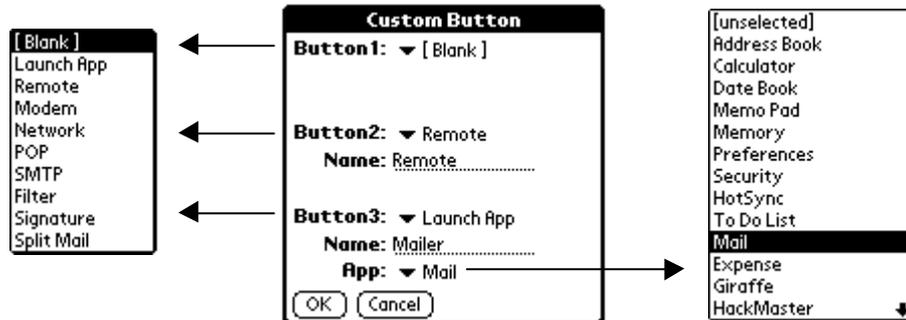
### (3) Continuation Message

メール分割されたとき、メール本文の末尾に付ける継続メッセージを設定します。n 個に分割されたとき、1 ~ n-1 に付きます。最後のメールには付きません。

特殊文字	内容
\$1	分割メール連番
\$2	分割メール総数

## 2.10. ボタン(Button)

メイン画面のボタン設定をします。



### (1) Button1 ~ 3

ボタンの機能を設定します。

選 択	動 作 内 容
[Blank]	ボタンを使用しない
Launch App	アプリケーションの起動
Remote	RemoteMail 設定
Modem	Modem 設定
Network	Network 設定
POP	POP サーバ設定
SMTP	SMTP サーバ設定
Filter	Filter 設定
Signature	Signature 設定
Split Mail	Split Mail 設定

### (2) Name

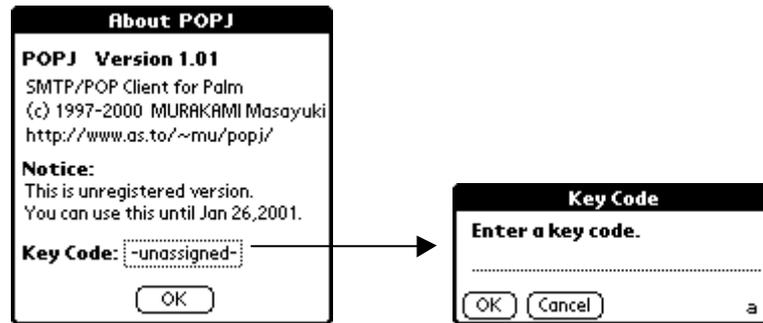
ボタンの名前を設定します。

### (3) App

起動するアプリケーションを設定します。ボタンの機能設定で「Launch App」を選択したときのみ有効です。

## 2.11. POPJについて>About)

POPJ のバージョン表示などを行ないます。また、ライセンスを取得したユーザはここでキーコードを入力することによりデモ版の時間制限を解除することができます。



### (1) Notice

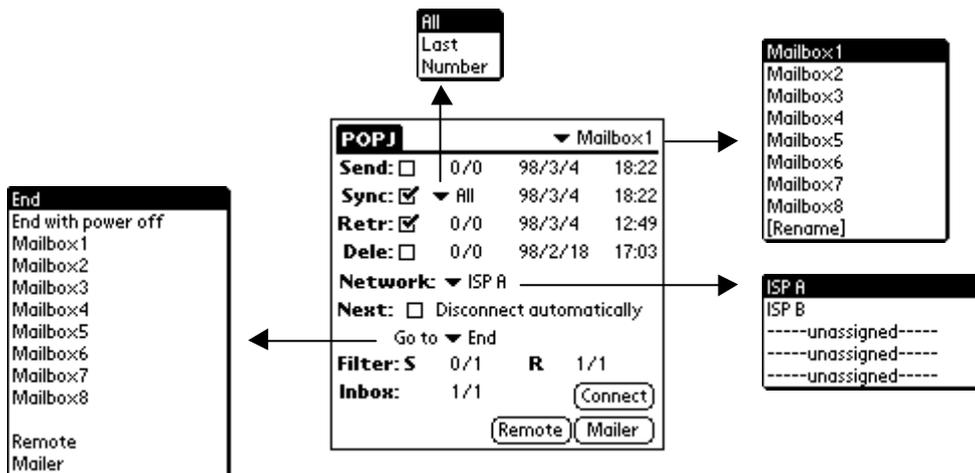
表示	説明
This is unregistered version.	時間制限のある未登録版
This is registered version.	時間制限の解除された登録版
**** Invalid key code ****	無効なキーコード

### (2) Key Code

デモ版の時間制限を解除するためのキーコードを入力します。

### 3. メイン画面

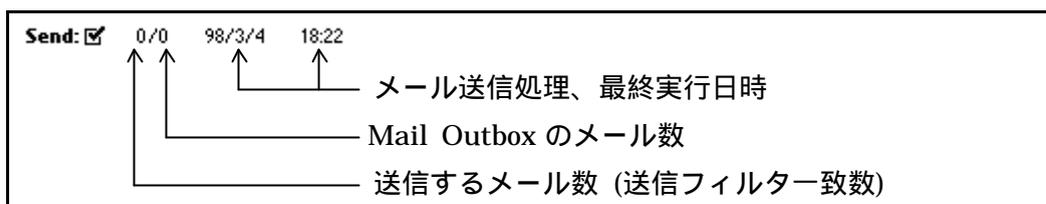
メイン画面では、メールの送受信を開始する前に、送受信の動作を設定することができます。設定後 Connect ボタンや上または下ボタンを押すことにより送受信動作を開始します。



#### (1) 右上のポップアップトリガ(MailboxX)

メールボックスを選択します。[Rename]を選択すると、現在のメールボックス名を変更できます。

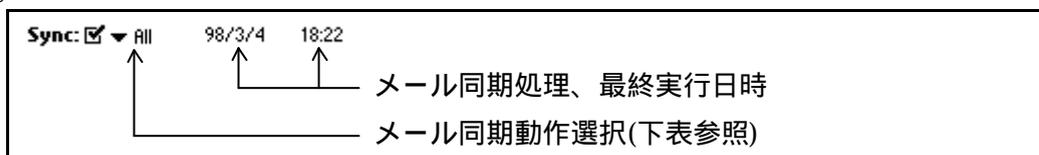
#### (2) Send



チェックボックス	動作内容
チェックする	メール送信処理を実行する
チェックしない	メール送信処理を実行しない

メール送信処理は、送信フィルタに一致したメールの送信を行います。送信フィルタに一致しないメールは送信されません。

### (3) Sync

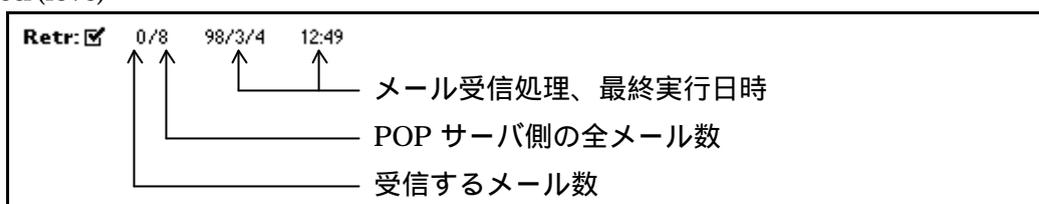


チェックボックス	選択	動作内容
チェックする	All	サーバ側に存在するすべてのメールに対して、メール同期処理を実行する
	Last	POPJ や他のメーラで最後に読んだ位置から、メール同期処理を実行する (POP サーバが Last コマンドを実装しているか、メールヘッダに Status フィールドが存在する必要があります)
	Number	最新メールの指定した数だけ同期処理を実行する
チェックしない		メール同期処理を実行しない

メール同期処理は、新たにサーバ側に届いたメールの Subject, From, メールサイズの取得を行います。本情報取得と同時にそのメールに対して受信フィルタの評価がされ、次のメール受信 / 削除処理での動作が決定します。一度取得した情報は POPJ が記憶しているので再度取得することはありません。よって All, Last, Number 設定にかかわらず、受信フィルタで評価されるのは一度だけで、サーバ側にメールを残しておいても同じメールを 2 回受信することはありません。

また、ここで取得した情報はオフライン時にリモートメール画面でメール受信 / 削除選択をするときにも使用されます。

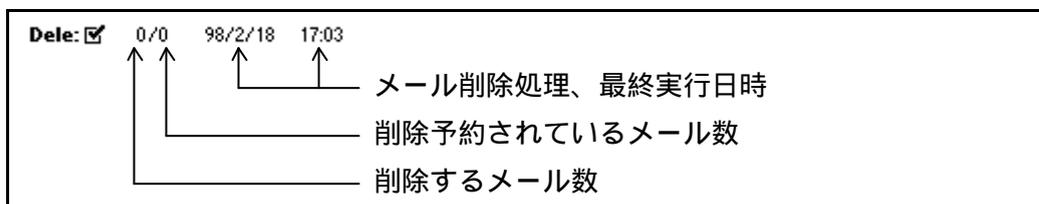
### (4) Retr(ieve)



チェックボックス	動作内容
チェックする	メール受信処理を実行する
チェックしない	メール受信処理を実行しない

メール受信処理は、受信フィルタやオフラインで指定されたメールの受信を行います。一度受信されたメールは、次の接続では受信されません。メール受信処理の前には、必ずメール同期処理が必要です。

(5) Dele(te)



チェックボックス	動作内容
チェックする	メール削除処理を実行する
チェックしない	メール削除処理を実行しない

メール削除処理は、受信フィルタやオフラインで指定されたサーバ側に存在するメールの削除を行います。メール削除処理の前には、必ずメール同期処理が必要です。

(6) Network

接続するサーバのネットワーク設定を選択します。同じサーバに対して、異なる電話番号で接続するときなどに使用します。

(7) Next

現在選択されているメールボックスで、メール送信 / 同期 / 受信 / 削除処理が終了したあとの動作を選択します。

(a) Disconnect automatically

回線を切断するか否かを選択します。

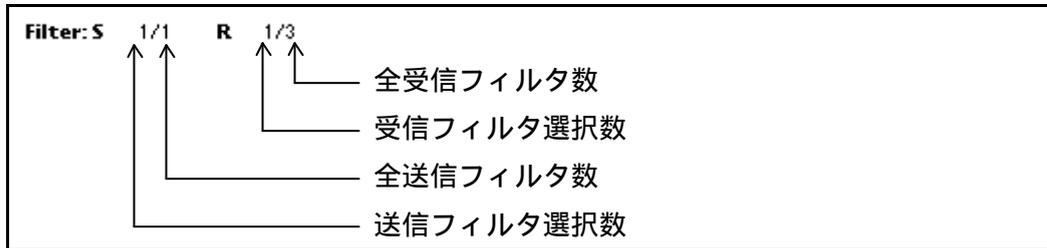
チェックボックス	動作内容
チェックする	回線を切断する
チェックしない	回線を切断しない

(b) Go to

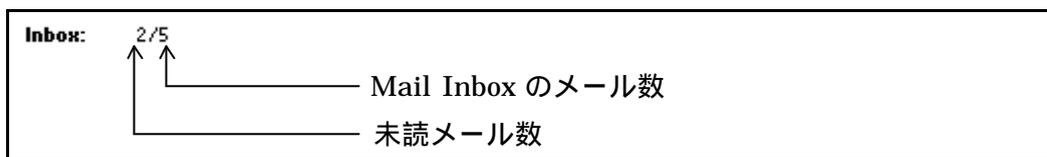
本メールボックス処理が終ったあとの動作を選択します。

選 択	動作内容
End	終了する。
End with power off	Palm/WorkPad の電源を落として終了する。 Disconnect automatically 設定にかかわらず回線は切断される。
MailboxN	N 番目のメールボックス処理を開始する。 その後の動作は N 番目のメールボックス設定に依存する。
ButtonN	終了する。その後、自動的に N 番目のボタンを押す。

(8) Filter

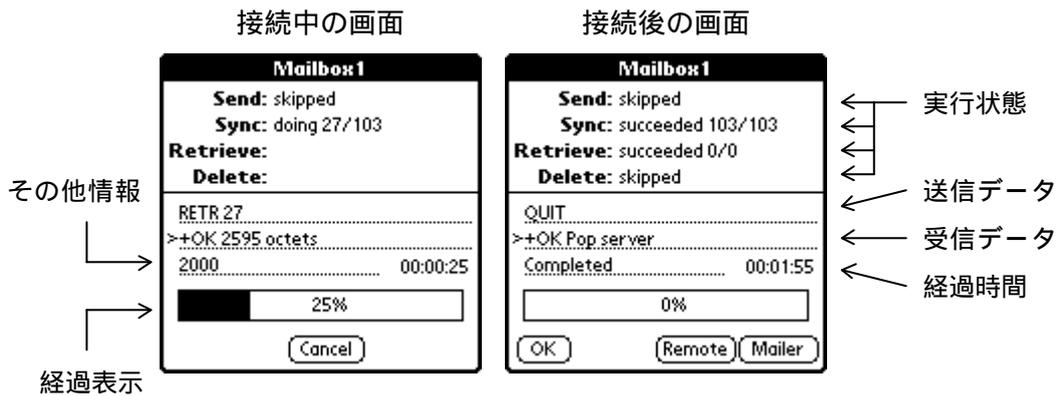


(9) Inbox



#### 4. 接続画面

メイン画面で CONNECT ボタンを押すことにより、メールの送受信が開始されて接続画面が表示されます。Cancel ボタンを押すと、そのときの処理が完了してから中断されます。上ボタン(接続状態で高速中断)や下ボタン(切断して高速中断)でも中断できます。



##### (1) 実行状態

表示	説明
skipped	メイン画面の設定が未チェックにより実行しなかった
doing	実行中
succeeded	成功
failed	失敗
aborted	中断

##### (2) 送信データ

POPJ がメールサーバへ送信したコマンドを表示します。

##### (3) 受信データ

POPJ がメールサーバから受信した応答を表示します。

##### (4) その他情報

表示	説明
<数字>	メール単位の送受信データサイズ(単位はバイト)
Completed	正常終了
Failed	異常終了
Cancelled	中断による終了
Cancelling	中断処理中

(5) 経過時間

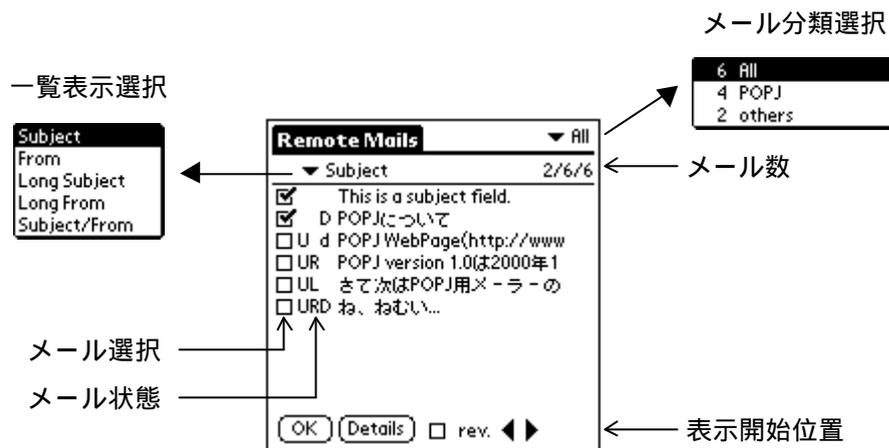
POPJ がプロバイダと接続を開始してからの経過時間を表示します。すべての処理が終了すると止まります。

(6) 経過表示

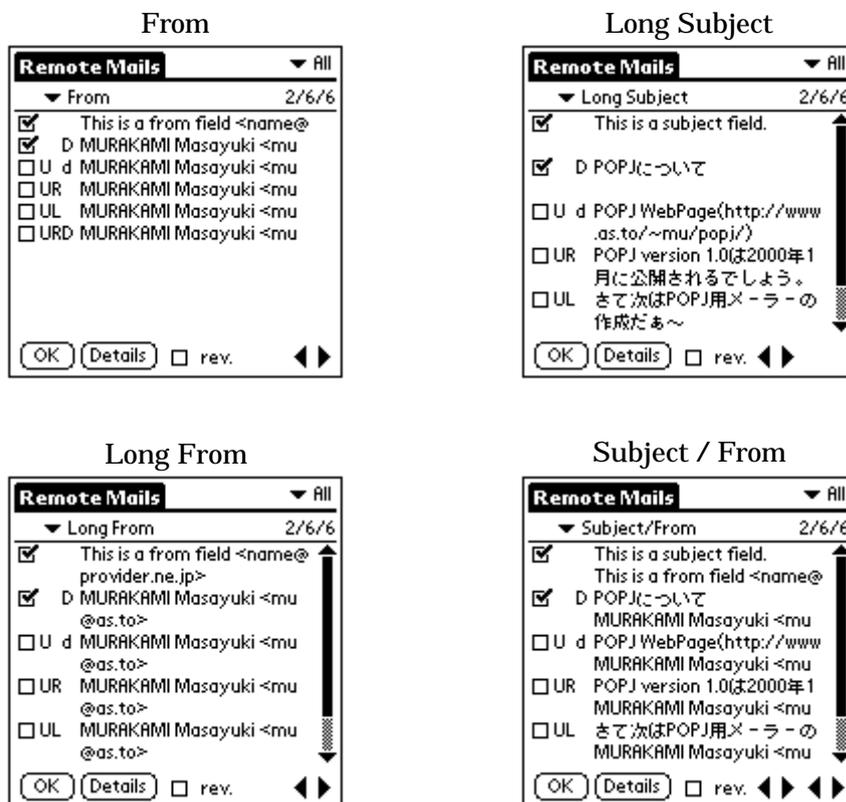
Send/Sync/Retrieve/Delete 単位の経過を表示します。

## 5. リモートメール画面

メイン画面から MENU>Mail>Remote を選択することによりリモートメール画面を表示させることができます。リモートメール画面では、前回の接続で取得したメールヘッダ情報をもとに、オフラインで各メールの受信 / 削除処理を設定することができます。ここで設定した受信 / 削除処理は、次回の接続で(メイン画面の Retr/Dele がチェックされているとき)実行されます。



### (1) 一覧表示選択



(2) メール分類選択

リモートメールフィルタで設定したメール分類の一覧です。フィルタに一致したメールだけが表示されます。左側の数字は分類されたメール数です。

(3) メール数

<選択されているメール数> / <メール分類されているメール数> / <全メール数>

(4) メール選択

チェックボックスでメールを選択することにより詳細情報を一括して変更することができます。詳細情報を変更するにはメール選択後に Details ボタンを押します。メニューの Mark/Unmark コマンドを利用すると連続して選択 / 非選択ができます。

(5) メール状態

表示	説明
U	未読を意味する。「U」が表示されていない物は、POPJ または他のメールで読み出したことを意味する。
R	次回の接続でメール本文を読み出す。
L	次回の接続で指定行数だけメール本文を読み出す。
D	次回の接続でメールをサーバから削除する。
d	削除指定されているが、指定日時が来てないので次回の接続では削除されない。

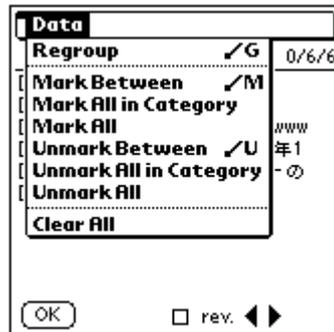
(6) rev.

表示内容の並びを反転させます。通常は古いメールが上、新しいメールは下に表示されます。rev. をチェックすると新しいメールが上、古いメールが下に表示されます。

(7) 表示開始位置

Subject や From の表示開始位置を変更します。左側が Subject、右側が From のボタンです。Subject または From を表示していないときにはボタンは現れません。表示開始位置はメール分類単位で記憶されます。

## 5.1. リモートメールメニュー



### (1) Regroup

詳細情報で Group 名を変更した後、Regroup コマンドを実行するとメールが再分類されます。

### (2) Mark / Unmark

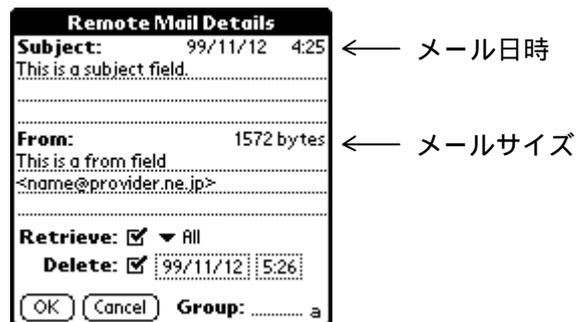
選 択	動 作 内 容
Mark Between	最後にチェックした2つのメール選択位置のあいだをすべて選択する。
Mark All in Category	分類表示しているすべてのメールを選択する。
Mark All	すべてのメールを選択する。
Unmark Between	最後にチェックした2つのメール選択位置のあいだをすべて選択解除する。
Unmark All in Category	分類表示しているすべてのメールの選択を解除する。
Unmark All	すべてのメールの選択を解除する。

### (3) Clear All

POPJ が Sync 処理で取得したすべての情報を削除します。本削除処理を行なうと未読管理情報などはすべて削除されます。通常は使用する必要はありません。

## 5.2. リモートメール単独詳細情報画面

リモートメール画面で、Subject や From 表示をタップしたとき、またはメール選択数が1個で Details ボタンを押したとき単独詳細情報画面が表示されます。



### (1) Subject

メールヘッダの Subject 領域を表示します。

### (2) From

メールヘッダの From 領域を表示します。

### (3) メール日時

メールヘッダの Date 領域(送信日時)を表示します。表示される時間は送信者のローカルタイムです。タイムゾーンは考慮されていません。

### (4) メールサイズ

メールのサイズを表示します。

### (5) Retrieve

メールをサーバから受信するか否かを設定します。既に POPJ がメールを受信していて、チェックボックスにチェックが入っていなければ、右側に受信した日時が表示されます。

チェックボックス	選択	動作内容
チェックする	all	全本文を受信する
	top	本文先頭の指定行数だけ受信する
チェックしない		受信しない

#### (6) Delete

メールをサーバから削除するか否かを設定します。日時を指定すると、その日時までは削除処理が実行されません。

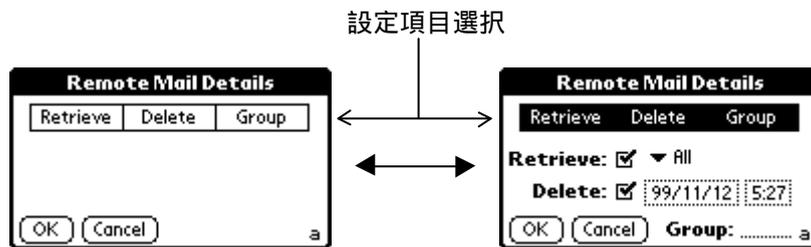
チェックボックス	動作内容
チェックする	削除する
チェックしない	削除しない

#### (7) Group

メールのグループ名を設定します。グループ名を変更してもすぐにはメール分類されません。グループ名変更後にメニューの Regroup コマンドを実行することによりメール分類されます。

### 5.3. リモートメール複数詳細情報画面

リモートメール画面で、メール選択数が2個以上で Details ボタンを押したとき複数詳細情報画面が表示されます。設定した内容は選択されているメールすべてに反映されます。



#### (1) 設定項目選択

Retrieve / Delete / Group のなかで変更するものだけ選択します。

#### (2) Retrieve

メールをサーバから受信するか否かを設定します。

チェックボックス	選択	動作内容
チェックする	all	全本文を受信する
	top	本文先頭の指定行数だけ受信する
チェックしない		受信しない

#### (3) Delete

メールをサーバから削除するか否かを設定します。日時を指定すると、その日時までは削除処理が実行されません。

チェックボックス	動作内容
チェックする	削除する
チェックしない	削除しない

#### (4) Group

メールのグループ名を設定します。グループ名を変更してもすぐにはメール分類されません。グループ名変更後にメニューの Regroup コマンドを実行することによりメール分類されます。